

職務経歴書

基本情報

項目	詳細
氏名	飯島 和弥 (Kazuya Iijima)
居住地	東京都
メールアドレス	kaz.redhot1201@gmail.com
GitHub	@kazizi55
Twitter	@kazizi55

職務要約

2024 年 7 月からフルスタックエンジニアとして、株式会社 Money Forward で会計サービス周りのシステム開発に従事しています。2021 年 4 月から 2023 年 2 月までフルスタックエンジニアとして、2023 年 2 月から 2024 年 6 月までフロントエンドリードとして、株式会社 BuySell Technologies でリユースプラットフォームのプロダクト群のシステム開発に従事しました。

職務経歴

2024 年 7 月～ / 株式会社 Money Forward (正社員)

2024 年 11 月～ / 会計周辺システムの新規開発

概要

項目	詳細
期間	2024 年 11 月～
担当役割	フルスタックエンジニア
チーム規模	8～10 人
利用技術	React、TypeScript、React Router V7、Go (gRPC server)、Kafka、CircleCI、AWS
コミュニケーション言語	英語、日本語

業務内容

- フロントエンド/バックエンド/インフラの設計・機能実装
 - 技術選定
 - 開発基盤用意
 - 機能開発の要求や仕様の整理・設計・実装
 - DX(Developer Experience)向上
 - CI / CD の整備
 - ローカル開発環境の整備

- サブマネージャーとしてマネジメント
 - タスク作成・アサイン
 - 課題の発見・優先順位づけ
 - スクラムイベントの主導
- コードレビュー
- ブランチ戦略含めた開発フローの設計・改善
- リファクタリング
- パフォーマンス改善
- エンジニア採用 (インターン)
- 英語が不慣れな日本人メンバーの教育・サポート

主な実績

フロントエンド・バックエンドの技術選定・ディレクトリ構成・コーディングルール制定を主導しました。また、外国人メンバーが複数ジョインしたため、MTG含むチーム内コミュニケーションは基本的に英語で行っています。

2024 年 7 月～ 2024 年 10 月 / 会計管理システムの改修

概要

項目	詳細
期間	2024 年 7 月～ 2024 年 10 月
担当役割	フルスタックエンジニア
チーム規模	7 人
利用技術	React、TypeScript、JavaScript、Rollbar、Ruby On Rails、CircleCI、AWS
コミュニケーション言語	英語、日本語

業務内容

- フロントエンド/バックエンド/インフラの機能実装
 - 機能開発の要求や仕様の整理・設計・実装
- コードレビュー
- リファクタリング
- パフォーマンス改善
- リリース作業
- QA
- ブランチ戦略含めた開発フローの設計・改善
- エンジニア採用 (中途)
- 英語が不慣れな日本人メンバーの教育・サポート

主な実績

要件が決まりきっていない中で、落とし所を見つけてリリースする必要があったため、PdMと対話する機会を通して作りたいものを探り、プロトタイプを作ってイメージを掴み、フロントエンド・バックエンドを改修して機能を追加していきまし
た。途中からはスクラムを採用し、チーム外のステークホルダーからも意見を聞きながら開発できました。また、英語が得意でないメンバーが多く、社内公用語が英語になる上でそれが障壁になったため、彼・彼女らに学習や会議参加に対するサポートを行いました。

2021 年 4 月～ 2024 年 6 月 / 株式会社 BuySell Technologies (正社員)

2023 年 2 月～ 2024 年 6 月 / 在庫管理システムの新規開発・運用

概要

項目	詳細
期間	2023 年 2 月～ 2024 年 6 月
担当役割	フロントエンドリード
チーム規模	7～10 人 (フロントエンドチームは 2～4 人)
利用技術	React、TypeScript、Vite、Next.js (Pages Router)、Material UI、TanStack Query、Sentry、Open API、GitHub Actions、GCP (Cloud Storage)

業務内容

- フロントエンドを軸にした開発・運用のリード
 - 技術選定
 - 開発基盤用意
 - 機能開発の要求や仕様の整理・設計・実装
 - タスク作成・アサイン
 - コードレビュー
 - リリース作業
 - QA
 - DX(Developer Experience)向上
 - CI / CD の整備
 - ローカル開発環境の整備
 - 障害の一時対応(オンコール対応)
 - 課題の発見・優先順位づけ
 - リファクタリング
 - ブランチ戦略含めた開発フローの設計・改善
 - パフォーマンス改善
 - 監視・アラート整備
- メンバーの教育
- エンジニア採用 (新卒・中途・業務委託)
- 社外発信
 - [開発者の脳内リソースを食い潰さないという観点のフロントエンド設計](#)

主な実績

半年程度で 0 から要件定義～リリースまでをする必要があり、同時に、チーム内のドメインエキスパートや実際に使うユーザーの方々に動いている画面を素早く見せてフィードバックをもらって修正する必要もありました。そんな中で、コードベースのメンテナンスのしやすさやバグの少なさを担保するために、VRT や Linter、Formatter を CI / CD を組み込んだり、コマンド 1 つでページ作成に必要なファイルの雛形が生成されるようにしたり、開発者が迷わないようなディレクトリ設計をしたりしました (Atomic Design と Screaming Architecture の併用)。結果、半年程度でリリースでき、また、運用している現在も手早くフィードバックをもとに修正することができています。

2022 年 11 月～現在 / フロントエンド横断組織の運営

概要

項目	詳細
期間	2022 年 11 月～現在
担当役割	フロントエンドエンジニア

チーム規模	4～8 人
利用技術	React、TypeScript、Next.js (Pages Router)、Material UI

業務内容

- 内定者インターン向けのフロントエンドのカリキュラムの企画・制作
- 全社向けのフロントエンドのガイドラインの企画・制作
- フロントエンド横断 MTG の企画・運営
 - モダンなライブラリの素振りの知見共有
 - プロダクトのフロントエンドの困りごとの解決
 - ライブラリの脆弱性について共有

主な実績

全社的に今後のフロントエンドの技術スタックを React で統一する方針になったにもかかわらず、内定者インターン向けのカリキュラムは Ruby On Rails を扱うものしかなく、プロダクトチームに配属されるまでのフロントエンドのキャッチアップは各々でやってもらうか、プロダクトチームのフロントエンドエンジニアに委ねられるかという形でした。そんな中で、React、TypeScript、Next.js、React Hook Form などを用いて TODO アプリを作るカリキュラムを企画・作成しました。内定者インターンの方々にもまずこのカリキュラムをやってもらうことによって、おおよそプロダクトチームで求められているフロントエンドの基礎レベルまで引き上げることができました。さらに、カリキュラムと合わせて、実装の模範解答も作ったことによって、実際にレビューするエンジニア (大抵は配属先のプロダクトチームのエンジニア) がレビューの際に迷わないで指摘ができるようにもなりました。

2022 年 10 月～2023 年 2 月 / 専門査定管理システムの新規開発・運用

概要

項目	詳細
期間	2022 年 10 月～2023 年 2 月
担当役割	フルスタックエンジニア
チーム規模	4～7 人
利用技術	React、TypeScript、Next.js (Pages Router)、Material UI、Go、Hasura GraphQL Engine、GCP (Cloud Run、Cloud SQL)

業務内容

- フロントエンドの設計・機能実装
 - 画面設計・デザイン・機能実装
 - DX(Developer Experience)向上
 - CI / CD の整備
 - ローカル開発環境の整備
- バックエンドの設計・機能実装
 - DB・API の仕様整理・設計・実装
- サブマネージャーとしてマネジメント
 - タスク作成・アサイン
 - 課題の発見・優先順位づけ
 - スクラムイベントの主導
 - メンバーとの 定期的な 1on1
- コードレビュー

- リリース作業
- QA
- 障害の一時対応(オンコール対応)
- リファクタリング
- パフォーマンス改善
- 監視・アラート整備
- メンバーの教育

主な実績

途中まで開発されたもののリリースはまだしておらず、初期開発に携わったエンジニアがほぼ辞めている状態で、他チームからプロダクトを引き受けたので、コードの負債やドキュメントの不足が目立っていました。 なので、フロントエンド・バックエンド・インフラでそれぞれ、ざっくりしたコーディングルールを決めて、これから書くコードの体裁を統一するとともに、負債となっているコードのリファクタも並行して主導しました。 これにより、既存メンバーの開発速度向上・新規参入メンバーのスムーズなジョインが可能になりました。 また、ADR の執筆を文化として定着させたことで、大きな機能の実装の際に実装の根拠と概要が書かれるようになりました。

自己PR

プロダクト品質を高く保ちながら迅速にチーム開発を行うことに意識を高く持っています。

開発では、以下の工夫をしています。

- plugin とカスタムルールをふんだんに盛り込んだ Linter と Formatter を CI に組み込む
- 単体テストを基本書くようにし、CI に組み込む
- 開発に必要なファイル群をコマンド 1 発で生成できるように
- メンバーと議論してコーディングガイドを制定し、ガイドに沿っていないものは基本レビューしない方針にする

これにより、ジョインしたてのインターン生でもすぐにルールに沿ったコードを書くことができるようになり、その PR を見るレビュー工数も毎回 5〜10 分程度で賄えていました。

スキル

プログラミング系

※ 実務経験基準

経験年数	スキル
0-1 年	Vue、Python
1-2 年	Ruby On Rails、Go、GraphQL
2-3 年	GCP、Terraform、Next.js、PostgreSQL
3-4 年	TypeScript、JavaScript、React

備考

- Google Cloud Professional Cloud Architect の認定資格を保持 ([証明書](#))

ビジネス系

- 簿記3級

自然言語

言語名	レベル	保有資格	資格取得年
日本語	ネイティブ		
英語	ビジネス (実務経験あり)	TOEIC 855 点 (証明書)	2024

学歴

年月	学歴
2016.03	栃木県立石橋高校普通科 卒業
2016.04 - 2021.03	上智大学総合グローバル学部 卒業 (国際政治学士)
2024.06 -	University of the People Computer Science 入学